

事業所における自己評価結果

公表日 R7 年 4 月 25日

事業所名	長久手市児童発達支援センター こぐまっこ	従事者数：	24人	回収数：	23人	回収率：	95.8%
------	----------------------	-------	-----	------	-----	------	-------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	23	0	・マジックミラーを設置し、利用児の刺激を少なくする取り組みがなされている。 ・省スペースで、それぞれ配置を工夫しながら支援している。	・市から提供頂いている施設で適切なスペースを確保しています。 ・マジックミラーは保護者が参観週間でお子さんの様子を見る際に、いつもと変わらない様子を見ていただけるよう配慮しております。マジックミラーはまた取り外しができるようにもしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	12	・利用定員に対しては満たされているが、子どもの状態によってまたは職員の欠勤によって足りない時があるので、その対応要員があると良い。 ・通常時は足りている。(他の先生からのサポート)でまわるがお散歩や訓練の時は人手が足りないと感じる。出席している子による。 ・平常時は適切だが、病気や有給等保育士が欠席の際、足りない時があると感じる。 ・子どもの状態によって変化はしていない。 ・利用定員に対する職員配置の規定数は満たされているが、子どもの状態や職員の休み等の状況時に必要な職員を確保してほしい。 ・子どもの人数で職員の配置数を決めるのではなく、子どもの状態によって決めた方が良いと思います。 ・日によって不足の日がある。保育士の補充をしてほしい。 ・子どもの人数ではなく、障がいの重さやクラス全体の雰囲気を通じて余裕のある職員の人数配置にしてほしいです。 ・子どもの人数に対する職人の数だけではなく、どのような子どもが居て1人ひとりに支援できる数を考えて配置すべき。 ・保育士が足りない(看護師が入っている)時がある。 ・現状出来る範囲では出来ているが、活動内容によっては口頭での指示が多いので少しずつ改善できるところから構造化の工夫をしていく。	・職員の配置数の基準は満たしており、適切な人数だと考えております。 ・職員の休みがあっても、配置基準は満たされています。しかし、職員の急な体調不良の休みなどもあり、不足することもあり、現在スタッフの募集かけています。ご了承ください。 ・軽度の子どもと重度の子ども関わりなく平等に配置し対応しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	2	・改善が必要な場所もあり。 ・物の配置など工夫し、上手に利用できている。	・情報伝達等で障害の特性に応じ、絵カードにて分かりやすい環境整備を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	23	0	・木をふんだんに使用した施設で、子どもにとってあたたかみのある環境であると感じた。	・子どもたちが退園した後、職員が掃除を行ない週に3回掃除担当のものが掃除をしています。 ・施設は木造の部分が多く子どもに温かい環境だと感じています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	19	4	・専門的支援を実施する別の教室が確保されている。 ・環境はあるものの、人員の見守りが不十分な時がある。	・職員の配置数の基準は満たしており、適切な人数だと考えております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	10	・パート職員には、目標設定と振り返りは伝えられているクラスと伝えられていないクラスがある。	・目標設定と振り返りが伝えられていないクラスがあったとのこと、申し訳ありません。今後は情報の共有、報連相を徹底し、全職員が把握できるよう努めていきたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	2	・評価表(保護者向け)を集めてはいるが、業務改善にはつなげていない。	昨年の保護者の評価表を集計し、単独通園になった後の様子が見れるよう、マジックミラーの設置など取り入れ改善しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	11	・普段から朝礼などで職員間の意見交流が行われていると感じた。 ・スタッフが少ないという意見等を改善できていない。 ・定期的(学期に1回など)相談、話す機会があると意見を言いやすい。	・御意見をお聞きする場を一年に一回設けています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	18	5	・上司にて行われている。外部研修など改善点がある。	・第三者による外部評価は費用がかかるため、今後行えるか検討していきたいです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20	3	・法人内等の研修は開催しているが、外部の研修に参加できていない。 ・外部研修の参加がない。 ・外侮研修等を更に増やしてほしい。 ・出勤時間は保育時間のため確保できているか分からない。	・法人内等での研修は定期的に行いましたが、外部研修の参加の機会が少ないため、今後参加できる機会が増やせるよう法人へ伝えていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23	0	・月に計画し、おたよりで親へのお知らせと、実際の取り組みをホームページにアップしたりして状態をお知らせしている。	・作成し、ホームページにて公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22	1	・児発管が作成しているのは初回のみであり、その後は担任が作成している。 ・アセスメントでは3ヶ月に1回しっかり面談できており、良い点と思われる。 ・支援会議で検討し、専門職の意見や経験者の意見など踏まえ計画作成され、家族への説明・同意を得ている。	・こどもと保護者のニーズや課題を聞き取り、児童発達支援管理責任者が児童発達支援計画を作成しています。クラス担任に指導しながら、モニタリング・支援会議も参加し作成しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	21	2	・児発管が原案を作成し、関係職員で会議を毎回行っている。 ・児発管が作成せず担任が作成しているため、担任の負担が大きい。 ・支援会議にて検討し、それぞれの代表するものと共有して支援に当たるようにしている。	・こどもと保護者のニーズや課題を聞き取り、児童発達支援管理責任者が児童発達支援計画を作成しています。その後はクラス担任が子どものことをよりよく知っているため、協力していただいています。またモニタリング・支援会議も参加し作成しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	22	1	・個別支援を記入する上で、支援計画に基づいた支援を行い、その結果を残すようにしている。	・引き続き、より良い支援ができるように努めています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	5	・KIDS及びデンバー式スケールを基に、次の発達アプローチ検討や日常の観察、生活背景、経日変化などから記録に残し、検討している。	・引き続き、より良い支援ができるように努めています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	23	0	・総合的に加味しながら、ここまでできることを検討し支援につなげている。	・引き続き、より良い支援ができるように努めています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	21	2	・各クラスで計画し、職員会等で情報共有しながら行っている。 ・チームで行えていない。 ・双方で話し合いながら、具体的な方法を検討している。	・各クラス担任が各年齢に適した内容を考えています。また職員会議で話をし共有をしています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	21	2	・色々なプログラムがあるが、個人差が大きいため個に合わせた個別の支援の時間をもっととって良かったと思う。 子どもの飽きもあり、創意工夫しながら検討している。	・色々なプログラムを企画して固定化を防いでいます。今後個別支援の時間が増やせるよう調整していきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	23	0	・状況及び子どもの現状を踏まえた支援を検討し、他クラスに入ったりして関わっている。	・引き続き、より良い支援ができるように努めています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	22	1	・保育士が少なくその他の職員が入る日があり、安定していないので負担が難しい。 ・バス当番で職員が抜けると打ち合わせができない日もある。職員の休みに応じて臨機応変に対応してほしい。 ・通園前に職員間で話し合い、その日の行動に繋げている。	・保育士が少ないとのご意見を頂きましたが、職員の配置数の基準は満たしており、適切な人数だと考えています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22	1	・職員同士で話し合う時間を必ず設けられるようにしてほしいです。バス当番、延長の対応となってしまうと話し合いができずに終わってしまうことがあります。 ・新しい発見など日々の状況にて報告し、児につなげる情報交換を行っている。	・子どもが退所した後、2時から3時に職員の話し合う時間は設けています。バス当番や延長の対応等で話し合う時間が少なくならないようにしていますが、平等に職員が対応しているため、場合によっては話し合いができない状況もあると思います。ご了承ください。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	23	0	・個別記録、日常の観察などから検討し、次の計画に反映させるよう検討している。	・引き続き、より良い支援ができるように努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23	0	・支援計画作成に携わる者が担当者会議に出席し報告及び情報交換を行っている。	・引き続き、より良い支援ができるように努めています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	21	2	・療育に影響が出ると困るため、児発管が参加。本来は担任が出るとよい。	・担任、保育所等訪問スタッフから話を聞き、ケース記録等を確認し、サービス担当者会議に参加しています。また、保護者と話をした内容も話をしていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	22	1	・外部から介入することが難しい環境になっている。 ・定期的に見学を受け入れ情報交換を図っている。	・地域の保健、協力医療機関、障害福祉、保育、教育等と連携できる体制を作り対応しています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	1	・保育所等訪問支援を行い、関係機関の情報共有を行っている。また卒所した後もしばらく支援を続けている。 ・保育上等訪問、担当者会議で情報交換ならびに共有を図っている。	・児童発達支援センターと保育園を併行で利用できるよう、市と連携を取っています。また利用者が幼稚園通園を希望している場合も併行通園できるよう、幼稚園と連携を取っています。保育園と幼稚園に保育所等訪問を行い、情報の共有を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	1	・小学校の保育所等訪問を1学期の間、学校生活に慣れるまで行っている。 ・つばきとは情報共有などの場は設けられておらず、こぐまっこの利用児の必要な情報が伝達されていないように思います。 ・保育上等訪問で情報交換を図っている。また施設長より関係機関と連絡や調整を図り情報共有している。	・毎年2月に開催される幼小連絡会にて、就学児童の情報共有を行なっています。また小学校への保育所等訪問を1学期まで行ない、相互理解に努めています。
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	18	5	・六市1町で他地域との交流があったり、サービス担当者会議での他事業所との連絡がある。 ・外部から介入することが難しい環境になっている ・上司が行っているようだが内容は知らない。	・六市一町交流会(瀬戸市、尾張旭市、長久手市、日進市、豊明市、みよし市、東郷町)に年に3回参加し、意見や課題、また情報交換等を行った。またサービス担当者会議にて、他の障害児通所通所支援事業所と利用者の情報等の連携を図りました。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	8	・外部研修の派遣はない。 ・内部研修は行えているが、外部研修は中々機会が設けられていない。 ・助言を受ける機会は少ない。外部研修の参加も少ない。 ・外部研修の参加がない。 ・更に増やす必要性を感じる。	・内部の研修で、大学の先生からインクルーシブの講座、また内部の言語聴覚士の子どもの発達についての講座等を開催し、療育の質の向上に努めています。また、しかし、外部研修の機会は休みと重なり参加することが難しかったです。今後改善に繋げていきます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	21	2	・自立支援協議会は理事長、子育て会議等は施設長が参加し、分担している。 ・分からない。	・自立支援協議会へは法人理事長、乳幼児連絡会、医療的ケア児等ケース会議等へは管理者がに積極的に参加し、情報の共有をしています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	19	4	・隣接する上郷保育園、上郷児童館との交流は相応にある。 ・複合施設の保育園開放で保育園児と交流する機会を設けている。 ・各児童がそれぞれの園で交流していると思うが、支援センターのみ通所している子には交流の機会が少ない。 ・保育園うあ児童館に行く機会がありますが、そこで何か交流することは難しいように感じます。 ・隣接している保育園との交流をもっと盛んにしてほしい。 ・併設施設とはあるが、他はない。	・隣接する上郷保育園の園庭を利用でき、交流の機会を設けています。来年度も交流を依頼しており、関わる機会が増やせるようにしたいです。上郷児童館にも交流する機会があるが保育園ほど交流する機会はないため、今後増やせると良いです。
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	23	0	・お迎え時に担任からの説明で保護者が「こうやって接すればいいのか」ということがわかった」と話していたことがあり、良い点と思う。 ・日々の状況や情報交換など毎日行っている。	・朝帰りの送迎の際に保護者とお子さんの話をする機会があり、発達の状況また課題について、共通理解できるよう話をしています。
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	23	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	23	0		
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	23	0	・モニタリング、計画に反映している。	・引き続き、子どもの最善の利益を優先できるように努めています。
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	23	0	・行っている。	・引き続き内容の説明に努め、同意していただけるよう努めています。
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	23	0	・すれ違いで声をかけられたり、申し出があった場合に相談対応している。	・引き続き、面談や助言の支援ができるように努めています。
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	22	1	・親子ふれあいイベントを開催し、保護者からは好評を得ている。 ・定期的に保護者交流会やクラス懇談会を行っている。 ・きょうだい同士で交流する機会は少ないように感じます。 ・センターとして行われている。	・保護者交流会や親子ふれあいイベント、懇談会等にて、保護者が交流する機会を作っています。きょうだい同士で交流する機会が今後作れば良いです。
	39	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	23	0	・担当者が必要に応じ専門職での対応されている。	・引き続き、迅速かつ適切な対応ができるように努めています。
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	23	0	・LINEを充分活用し、タイムリーな発信ができている。 ・担任(各クラス)が行っている。	・毎月こぐまっこのおたより、給食献立、各クラスだよりをLINEにて発信しています。また急遽入ってきた情報などもLINEにて発信し、最新の情報を共有できるよう努めています。
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	23	0	・持ち出し禁止など対応している。	・引き続き、個人情報の取扱いに留意していきます。
	42	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	23	0	・単独となる機会やクラス懇談会などで情報共有している。	・引き続き、最善の配慮ができるように努めています。
非 常 時 等 の 対 応	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	8	・年に1度ふれあいイベントを行っているが、地域住民を招待する段階に至っていない。今後方法について検討していきたい。 ・地域住民を招待する機会は図っていない。 ・家族は招待していましたが、地域住民は少ないのではないかと感じます。 ・していない。	・親子ふれあいイベントにて保護者等を招待していますが、地域住民の招待には至っていません。市の民生委員に施設内や療育の様子を見ていただく機会が作れました。しかし、利用者の個人情報の観点からも厳しい内容と考えています。
	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	22	1	・感染症の対策の実践をスタッフで集まって出来たことはよかった。 ・最低限は整っている。	・感染症対策等をマニュアルを元にスタッフ間で共有し、訓練を実践しました。
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	23	0		
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	23	0	・親からの情報不足もあるが、できるだけ確認はしている。	・事前に確認し、看護師とも共有しています。内容で分からない場合は保護者に再度確認を行なっています。
	47	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	22	1	・わからない。看護師対応？	・医師の指示書に基づき対応をしています。
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23	0		
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	23	0	・訓練等で都度説明。	・取り組み内容について、廊下や教室に安全計画を貼り周知している。
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	22	1	・日々ヒヤリハットを共有し、職員会議にて対応対策を検討し改善につなげている。 ・随時報告と相談で検討。	・ヒヤリハットがあった際には必ず記入し、職員間でも共有できるよう努めています。また職員会議にて共有し改善に努めています。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22	1	・虐待防止については、専門家の方に色々話を聞きたかった。	・年度初めに管理者が研修機会を作り、虐待防止の理解に努めました。今後は専門的な方からも話が聞ける機会を作ればと思っています。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	5	・対象児童がいない。 ・家族に説明と同意の下行うようにしている。	・対象児がいないため行っていないです。今後身体拘束が必要な利用者も入所することがあるかもしれないため、身体拘束の際の必要な内容を周知できるよう努めたいです。

※ その他ご意見欄

- ・ たいよう たんぼぼ教室が道路から丸見えなことが気になる。 プライバシーや子どもの安全の為に見えないように配慮すべきではないか。
- ・ 保育士の人数が少ない(フリーいない)
- ・ 専門職の先生がクラスの担当に入ったり、保育士が休んで足りない時、看護師が入るなど保育士が明らかに足りないのに補充せず、保育士以外の先生の負担が大きい。
- ・ 職員に対する説明が全体として少なすぎる。オリエンテーションするなど伝達する手段の確保をした方が望ましい。
- ・ 専門職が担任で本来の業務の妨げになっている。必要な所に配置せず、人数合わせの体制作りは良くない!!専門職としての対応が取りづらい体制はいかがなものか？
- ・ 子どもの状態に応じて、支援者が対応するにはギリギリな状態が病欠や有給休暇の取得などで職員数が減ることでの対応がしきれていないことがある。

事業所における自己評価総括表

○事業所名	長久手市児童発達支援センター こぐまっこ		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日 ～ 令和7年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58人	(回答者数) 53人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日 ～ 令和7年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 22人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さんが施設で安心して楽しく活動できるよう、また保護者の方が安心して預けられるよう支援しています。	・生活や活動空間の安全面また衛生面等を十分に気を付けています。また各お子さんの特性に合わせた活動内容に配慮しています。	・お子さんの障害特性の詳細の理解をし、様々な場面や状況を想定し支援できるよう職員間の情報の共有を行います。
2	・親子通園を行っているので、保護者の子育てに対する不安や困りごと等の相談しやすい環境を提供しています。	・保護者に親子通園の際、子どもの特性を踏まえた具体的な関わり方を提案し、子育ての参考にしてもらっています。 ・各家庭の療育状況を聞き、保護者の子育てに関する困りごとなどの参考になるアドバイスしています。	・より密な連携を継続していきます。
3	・保護者交流会が6回、懇談会が2回があり、保護者が悩みや相談などの話をする機会が多くある。	・保護者の子育ての悩みや相談など、話をする機会が多くあり、他に病院や他事業所、今後の就学等についても情報を共有する場所がある。	・1時間で開催しているが、時間が足りないという話もあるため、場合によって時間を長くするなどし、保護者のニーズに応じられるよう検討する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・インフォメーションが少ない場合があります。	・近隣の保育園の園庭を利用する回数がR6年度は多かったが、園庭を交流したことの情報共有が保護者に少なかつです。	・園庭利用の際、事前や事後にインフォメーションを行ない、保護者への周知不足を改善していきます。
2	・車の運転免許がない方、車を所持していない方が、公共交通機関のアクセスが少ないため、施設を利用しにくいです。	・送迎がハイエース・プリウスの2台で送迎しているが、最大9名までしか送迎できないです。	・送迎バスをもう一台設置できるよう市に要望しています。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		長久手市児童発達支援センター こぐまっこ			公表日		R7年 4月 25日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点			
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	18	4	・特に教具・教材は用意していない。 ・教材は必要ない。 ・児に合わせた教材を保育士が選んで入れ替えをしたり、常に興味や遊びの幅が広げられる工夫をしていると思う。	・訪問支援の際に教具教材は使用しておりません。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	12	・若干の不足 ・少ない ・希望者が増えてきているので、訪問できる人材を増やしたい。 ・主任が保育所等訪問に行く頻度が多すぎて、こぐまっこに不在な日が多くなる。 ・保育士を増やしてほしい。日によって不足している日があるため。 ・職員の数が少なすぎて1人ひとりの負担が大きいと感じる。 ・通常保育では手が足りているが、クラスの数に対してよりどの子が手が必要かの組み合わせもあるため、フリーの保育士が数人増えるとよい。	・職員の配置数の基準は満たしており、適切な人数だと考えております。保育士の補充して欲しいとのご意見あり、現在スタッフの募集かけています。ご了承ください。			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	6	・パート職員は目標設定と振り返りに参画できていない。 ・送迎やパート職員の帰るタイミングがそれぞれ違うこともあり、振り返りをするのが少なかった(クラスによって違うかも)	・目標設定と振り返りが伝えられていないクラスがあったとのこと、申し訳ありません。今後は情報の共有、報連相を徹底し、全職員が把握できるよう努めていきたいです。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	3	・正職に保育士同士では共有があったが、パート職員まで情報が来ないことが多く、全員での共有をする機会があるとよかった。	・昨年の保護者の評価表を集計し、意向を取り入れ改善しています。			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	7	・職員の意見を把握する機会はあるが、全体に伝わっていない。保育所等訪問のスタッフだけの場合がある。 ・意見を言っても改善につながることが少ない。 ・朝の報告などで情報を知る機会があるのはよかった。(業務日誌も)	・保育所等訪問スタッフだけでなく、全体に伝わるよう業務改善に繋げていきます。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20	2	・心理士の先生など、専門性のある意見も聞く機会がありぜひ今後も定期的にやってほしい。	・心理士の先生と専門性のある方から意見が聞けるよう改善できれば良いですが、第三者による外部評価は費用がかかるため、今後行えるか検討していきたいです。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17	5	・法人内の研修はあるが、外部の研修を受講する機会は少ない。 ・研修が今年度は充実しておりとても良かったが、土曜日開催で出席できないことがあり残念だった。内容はとても勉強になった。	・法人内等での研修は定期的に行いましたが、外部研修の参加の機会が少ないため、今後参加できる機会が増やせるよう法人へ伝えていきます。			
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	22		・それぞれの担任の先生がよく考えて作成してくださっていた。 ・支援会議で検討し専門職や経験者意見などを踏まえ。計画作成され家族への説明と同意を得ている。	・こどもと保護者のニーズや課題を聞き取り、児童発達支援計画を作成しています。クラス担任に指導しながら、モニタリング・支援会議も参加し作成しています。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	21	1	・全職員が子どもの最善を考えて療育を行っている日々感じていた。 ・支援会議にて検討し、それぞれの立場でひとりひとりの子どもに合わせた発達に応じ検討し、共有して支援提供している。	・引き続き、より良い支援ができるように努めています。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	22		・先生と連絡し情報が共有されていた。 子どもの観察後、検討会議で情報交換し必要な助言と今後の計画への参考意見として聴き反映している	・保育所等訪問先の担任の意向を盛り込み作成を行っています。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20	2	・保育所等訪問のスタッフでとどまっていることがあり、共有されていないことがある。 ・トイレ(排泄)や食事に関しては送迎時にもよく情報共有し、計画と合わせて支援できていた。 ・アセスメントや情報を基に支援されており、訪問時に変化も見られている。	・引き続き内容の説明に努め、同意していただけるよう努めていきます。			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	19	3	・専門的な目で第三者からも見てもらった内容を共有してほしかった(上の方ではあったかも?) ・施設で受けた発達検査を基に検討し、訪問時に観察を行っている。これらを基に助言している。	・契約の際に詳しく内容の説明を行っています。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	21	1	・されていたと思う。支援計画が誰でも見ることができると定期的確認するなどでした。	・児童発達支援計画の内容を示しながら説明しています。また計画内に専門的な言葉があった場合も、分かりやすいよう内容をかみ砕き説明しています。			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20	2	・職員間に共有は少なく、保育所等訪問のスタッフでとどまっていることもある。 ・されているが充分ではなかった。非正規職員との情報共有がなかなか時間のしばりもあり少ない。	・保育所等訪問スタッフだけでなく、全体に伝わるよう業務改善に繋げていきます。			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	19	3	・その日に行われる内容は理解があるが、個別の支援レベルについての話まではしていなかった。 ・それぞれの役割分担をし、支援している。	・個別内容をチームで連携できるよう情報の共有を行ないたい。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	18	4	・先生によるが一日の出来事を振り返って次の支援に生かした。 ・その日の検討事項を情報共有し、対応検討されている。	・訪問終了後、情報の共有できるよう職員間で振り返りを行っています。			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	21	1	・保育所との連絡は密にとれていたが、足並みをそろえるのは難しいと感じる。トイレなど保育所ではできないなど多い。	・保育園や幼稚園の考え方を方針を理解・尊重し、支援を行っています。			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	21	1	・個別支援を毎日記録し、過去との成長や苦手なことなど確認しながら支援ができていた。 ・訪問記録にて記録して保育園に渡し共有されている。次回訪問時に反映するようにしている。	・訪問後必ず記録を取り、次回の訪問のため検証や改善に繋がられるよう取り組んでいます。			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	22		・できていたと思う。 ・保護者意見、保育所意見を聴取し、計画に反映している。	・保育園、幼稚園の先生と話をし、また定期的に保護者とモニタリングを行ない、保育所等訪問支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	21	1	・そうしていた。	・担任、保育所等訪問スタッフから話を聞き、ケース記録等を確認し、サービス担当者会議に参加しています。また、保護者と話をした内容も話をしています。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	21	1		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	1		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	17	5	・内部研修は行えているが、外部研修はなかなか機会が設けられていない。 ・外部研修の参加はない。 ・土曜日出勤になるため、出席が難しいことがあった。平日に行ってくれとうれしい。	・内部の研修で、大学の先生からインクルーシブの講座、また内部の言語聴覚士の子どもの発達についての講座等を開催し、療育の質の向上に努めています。また、しかし、外部研修の機会は休みと重なり参加することが難しかったです。今後改善に繋げていきます。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	19	3	・自立支援協議会は理事長、子育て会議等は施設長が分担して参加している。 ・わからない。上の方は参加して下さっていたと思う。そこでの事は細かくは知らない・	・自立支援協議会へは法人理事長、乳幼児連絡会、医療的ケア児等ケース会議等へは管理者が積極的に参加し、情報の共有をしています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20	2	・連絡帳などでやりとりはしているが、保護者から何も記入がないことも多く、保育士も細かく出来事を書ききれない。(時間的にも) ・モニタリングなど定期的に意見交換はしている。	・朝帰りの送迎の際に保護者とお子さんの話をする機会があり、発達の状況また課題について、共通理解できるよう話をしています。また、保育所等訪問のみの保護者へは、電話やLINE等で連絡を行い、施設で対面して報告を行なう機会を作っています。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	21	1	・年6回講座を行っている。 ・実施しているが保護者によって熱量に差があり、仕事の関係で参加できなかったと差がある。	・家族支援プログラムを年に5回行っています。また保護者に参加いただけるよう曜日を固定せず開催しました。仕事で参加が難しいとのご意見がありましたが、土日祝はサービスが実施できないので、ご了承ください。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	22		・その場にはないのでわからないが、していると思う・	・運営規程、利用負担等について、説明をしていないため、今後周知を図ります。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	22			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	22		・保護者の求めるレベルの高さと、支援のステップの進みに差があることがあるが、話し合い、説明をしてすり合わせている。 ・半年に1回のモニタリングを聴取し、計画に反映するようにしている。	・家族に保育所等訪問の報告の際、各お子さんの最善の利益を優先し保育所等訪問支援計画を作成しています。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	22		・その場にはないのでわからないがしている。 ・モニタリングで聴取したものを基に作成し、同意ももらっている。	・各家族に説明を行ない、同意を得て行っています。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	22		・連絡帳でのやり取りや、担任から電話を入れるなど連携をとっている。送迎の際に保護者の表情なども観察している。 ・1回/6ヶ月　モニタリングで情報交換し、必要があればサービスの紹介など行っている。	・定期的に連絡帳や電話にて相談に応じ、必要な助言と支援を行なっています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	18	4	・保育所等訪問支援の保護者同士で交流する保護者会の開催はない。 ・きょうだい、父親の交流は母親に比べてかなり少ないのではないかと思います。 ・保護者同士の交流の場はあるが、メンバーは同じ人になりがち。	・保護者交流会や親子ふれあいイベント、懇談会等にて、保護者が交流する機会を作っています。きょうだい同士で交流する機会が今後作れば良いです。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	21	1		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	21	1	・毎月、おたよりを作成し子どもの活動や狙いを伝えている。	・毎月こぐまっこのおたより、給食献立、各クラスだよりをLINEにて発信しています。また急遽入ってきた情報などもLINEにて発信し、最新の情報を共有できるよう努めています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	22		・カギのついた扉に入れて管理している。	・個人情報保護の研修を職員で行い、取り扱いには十分注意しています。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	22			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	22			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	22			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	21	1	・保護者のニーズに合わせて、面談・電話・報告書などで共有を行っている。	・保育所等訪問後、各家族にその日の園での様子を含め、適切に支援内容を説明しています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	22			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	22			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	21	1	・ミーティングした内容を書類にまとめる。全員が共有できるようにしてある。	・ミーティングにて内容をまとめ、全員が共有できるよう整備しています。 ・感染症対策等をマニュアルを元にスタッフ間で共有し、訓練を実践しました。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21	1	・子どもによってはもっと人手が欲しい時がある。パニックや飛び出し行為のある子には1人職員がとられるため。	・安全計画は計画スケジュールに沿って、必要な研修・訓練を行っています。その安全管理が理解された十分な環境で支援を行っています。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	21	1	・ヒヤリハットの共有はされていない。 ・ヒヤリハット報告書を見て、防止に注意していくようにしている。	・ヒヤリハットがあった際には必ず記入し、職員間でも共有できるよう努めています。また職員会議にて共有し改善に努めています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	21	1	・今年度は虐待についての研修はなかった。見つけた時の対応などマニュアルがあるとよい。	・年度初めに管理者が研修機会を作り、虐待防止の理解に努めました。今後は専門的な方からも話が聞ける機会を作れればと思っています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	2	・していると思うが、どこまでを身体拘束なのかと少し迷う。身体拘束なのか少し迷う。	・対象児がいらないため行っていないです。今後身体拘束が必要な利用者も入所することがあるかもしれないため、身体拘束の際の必要な内容を周知できるよう努めたいです。

- ※ その他ご意見欄
- ・ 保育所等訪問支援に深く関わっていないので、「はい」「いいえ」の選択肢しかないのが答え辛かったです。「わからない」等の選択肢があると良いと思いました。
 - ・ 専門職員の配置がおかしい。動くべき人材が動けない。上司が動き過ぎ、下を育ててない。このままでは人材不足に陥る危険性がある。
 - ・ 営利目的に偏りすぎてないか？適切に配置し、職員の入れ替わりのないように体制を整える必要性があると考えられる。
 - ・ アンケート等の意見からの改善がなされていない。調査・集計は行われているが改善等の検討はされていない。

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名					公表日			
長久手市児童発達支援センター こぐまっこ					R7年 4月 25日			
					利用児童数： 53人 訪問先： 14園 回収数： 11園			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8	3		・いつも子ども達の事を細かく見ていて下さりありがたい限りです。 ・よく理解出来ます。担任は助けられています ・現在の状況をみていただき、支援員の方の気付きを教えていただけるので大変参考になりました。 ・質問したことに対して、的確に助言をくださり参考にすることができました。 ・少人数の時と集団時での姿や活動が異なり、場合によって取り入れずらいことがある。	・いつも保育・教育の現場に訪問させていただき、忙しい中ご協力いただき感謝しております。今後も訪問時は、集団活動に即したアドバイスを行うよう、また実践しやすい提案ができるよう努めてまいります。		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9	2		・子ども達の特性を的確にとらえて下さるので、頼もしい存在となっています。 ・とても満足しています。 ・十分に見て頂けています。 ・自分には分からない角度からの見解を聞くとことができてよかったです。 ・担任以外の違う視点からアドバイスを頂けることがすごくありがたいです。	・ありがとうございます。今後も支援に満足いただけるよう、知識・技術の向上を目的に職員研修を行っていきます。		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9	2		・困っている時、迷っている時に少し離れた視点から、アドバイスを頂けるのでとても助かります。 ・担任とよく話せていただいていますので、きっと良い指針になっていると思います。 ・適切でした。 ・その場で答えられないことは次回の訪問の際に答えてくださったこともありよかったです。 ・その時に合った助言をしてくださるので安心して質問することができました。	・訪問時に困っている、迷っている内容をお聞きし、適切にお答えできるよう心がけています。またその場で答えられない場合は、一度施設に持ち帰り機能訓練担当職員等に相談し、次回の訪問にお答えできるよう努めています。		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	2		・専門分野の方に来て頂ける事で、保育する上での道すじが明確となりました。 ・なかなか解消までには至りませんが、方向性の確認には大いに助けられています。 ・幼稚園での様子を第三者の眼で見ることによって、保護者の不安も解消されたのではないかと思います。 ・事業所での取り組みを聞き、参考にして解決したことが多々ありました。 ・専門の方の意見を取り入れることで加配児への対応方法をいくつか知り、実践することができました。	・保護者、保育者、支援者の皆さんが協力しながら適切な支援ができるよう心がけています。今後も支援の質の向上に努めてまいります。		
5	事業所からの支援に満足していますか。	10	1		・レポートを読む毎に納得しています。頭が下がる思いです。 ・満足しています。ありがとうございました。 ・毎回短い時間の中でも、お互いの話を共有できてよかったです。 ・お忙しい中でしたが毎月お時間を頂き、ありがとうございました。	・今後も満足いただけるような支援が続けられるよう、支援の質の向上に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。		
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応			
・訪問日について月1回としていますが、本児の成長、姿、様々なことを共有して、合わせての訪問日であると良いと感じます。(場合によっては月に2度になったり、2カ月後だったりと)こちらの思いです。もしご検討頂ければ幸いです。これからもう少しぜひよろしくお願いいたします。いつもありがとうございます。 ・こぐまっこに通所している子どもたちの、こぐまっこでの姿を聞く事もでき、その事により園での過ごし方を再度考えてみる良い機会となっています。また、専門分野の方が定期的に来援してくださる事で”困った時にはすぐに相談できる”という私達保育士の安心材料ともなっています。小集団での個に合わせた療育と保育園という大きい集団の中での育ちを連携させて、個性豊かな子ども達がもっと増えてくると思われますので、私達保育士の良き相談機関となって頂けたらと思います。 ・登園ではこぐまっこに通所している園児がたくさん在籍しています。その子たちにとって居心地の良い環境作り心掛けています。訪問の先生にアドバイスをいただきながら成長を見守ることが出来るので、心の余裕も出来、先生方もとても助かっている様です。当の本人達は急激な変化は見られませんが、少しでも前進出来ればと常日頃思っています。いつも適格なレポートに感謝しています。 ・いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。 ・実際にこぐまっこでの生活の様子がわかる先生もいらっしゃる、よりよい支援につながっていくのかなと思いました。排泄面や食事面でこぐまっこではどのように援助しているのか、担任の先生とも意見交流ができる場があるとより深められていくと感じました。難しいとは思いますが、保育園の担任もこぐまっこでどのような生活を送っているのか遠い所からでも見える場があると嬉しいなと思いました。 ・学期ごとに短い時間ではありましたが、事業所での園児の様子、そして幼稚園での園児の様子をお互いに共有することができて、とても有意義な機会でした。園で困っていることをお伝えすると、事業所ではこんな風にやっている…ということを教えていただき、参考にさせていただくこともたくさんあり、このような情報交換、訪問の場は必要であると感じました。来年度もよろしくお願いいたします。ありがとうございました。 ・加配の対象児が通い始めて一年が経ちますが、今年一年ですごく成長した姿と一緒に見ることができ、本当にありがとうございます。来年度も園に訪問されることがあればぜひ主活動が始まる前や朝の会など対象児の姿を見ていただけたらと思います。								